



▼「龍神の池公園」の整備に携わった中横田区の皆さん



地元住民が公園整備

「龍神の池公園」

中横田集会所近くにある手
作りの公園「龍神の池公園」
に東屋が完成しました。

「龍神の池公園」は、湧水
地を中心に地元の木材で作っ
たイスや東屋、桜や紅葉の木
に囲まれた公園。中横田区に
住む、内田道明さんと宮澄安
一さんが子どもの頃から地域
を潤してきた湧水地を守りた
いとこの想いで、この土地の地
権者3人の協力を得て、約9
年がかりで整備を進めてきま
した。

耕作放棄地となっていた土
地の、竹やぶや雑草の除去作
業から開始し、当初2人で始
まった作業も、今
では中横田区民の
有志も協力。定期
的に落ち葉の掃除
や花壇の整備など
美化作業に汗を流
しています。今後
は、ブランコなど
子どもたち向けの
遊具の設置を予定
しています。

内田さんは「皆
さんと楽しく作業
しています。ぜひ
一度足を運んでも
らえると嬉しいで
す」と笑顔で話し
ました。

緑川の河川整備を要望

国土交通省に町から要望書を提出

1月27日（金）本町を貫流する一級河川・
緑川の管理を行う国土交通省熊本河川国道事
務所に対して、堤防の整備など河川整備促進
について要望活動を行いました。

奥名克美町長は「気候変動に伴い激甚化す
る水災害に対し、緑川の整備は重要な事案で
す。地域の皆様の安全・安心な暮らしを守る
ために、ぜひ整備の促進をお願いします」と
述べ、船津地区防災ステーションや堤防の整
備、河川堀削などの要望書を三保木悦幸事務
所長に手渡しました。



▲奥名町長（左）が三保木事務所長に要望書を提出



▲内水対策について関係機関で協議

国・県・町合同で流域治水を推進

第3回「緑川竜野川内水対策会議」を開催

1月27日（金）に国土交通省
熊本河川国道事務所で、第3回
「緑川竜野川内水対策会議」が
開催されました。

同会議は、緑川の竜野川合流
点付近に所在する河川の管理者
である国土交通省、熊本県、甲
佐町が合同で、豪雨時の被害状
況共有と浸水対策を推進するこ
とを目的に令和2年3月に設立
されました。

今回は、これまでに発生した
豪雨被害の状況や、流域治水な
どの対策について報告が実施さ
れ、浸水被害軽減に向けた対策
案の検討と、その実施に係る関
係機関の協議・調整が行われま
した。

甲佐町で氷点下9.0度

観測史上最低気温を記録

1月25日（水）強い冬型の気圧配置の影響で甲佐町は厳しい冷え込みとなりました。気象庁によると、この日の甲佐町の最低気温は氷点下9.0度で、本町の観測史上最低気温となりました。

積雪や路面凍結の影響で交通の混乱も見られ、町内の小中学校では、登校時間を遅らせる対応を実施。町内各地で、雪だるまを作ったり雪合戦をしたりして、数年ぶりの雪遊びを楽しむ子どもたちの元気な姿が見られました。



▲雪が積もった町役場庁舎

甲佐中の選手たちが出場

第49回郡市対抗熊日駅伝



▲第49回郡市対抗熊日駅伝の上益城郡選手団結団式に参加した（左から）大塚選手、後藤選手、藪田選手、吉田選手



▲育てた花から採れた種を沼田さんに手渡す児童たち

いのちの種を次の学校へ

龍野小学校で「人権の花運動」終了式

2月9日（木）龍野小学校で、「人権の花運動」終了式が開催されました。

同運動は、子どもたちが協力して花を育てることで生命の尊さを学び、優しさと思いやりの心を育むことを目的に、町教育委員会が人権擁護委員と協力して実施。

児童が昨年5月に種を受け取って、大切に育てた花から採れた種を、人権擁護委員の沼田峰子さん（北原区）に贈呈。蔵田勇治教育長から児童に感謝状が贈られました。

花の種は来年度、甲佐小学校へ届けられ、大切に育てられます。

2月12日（日）第49回郡市対抗熊日駅伝大会が開催されました。

熊本陸上競技協会と熊日日新聞社が主催する同大会は、県内の19郡市が出場。公道での開催は3年ぶりとなりました。

選手たちは天草市役所前を午前9時にスタートし、熊本市中央区のびぶれす熊日会館前の14区間103.3kmでたすきをつなぎました。上益城郡は5時間32分46秒の4位で入賞。優勝した熊本市は5時間24分25秒のタイムで8連覇を達成しました。

本町からは、後藤悠月選手（甲佐中1年・船津区）が1区（3.2km）、藪田航希選手（甲佐中2年・芝原区）が5区（3.6km）を出走。大会を終え、後藤選手は「来年は、今回よりも良い順位でタスキをつなぎたいです」と話しました。藪田選手は「来年は、区間賞を目指します」と話しました。また、控えに回った吉田与絆選手（甲佐中2年・大町区）と大塚昊生選手（甲佐中1年・北原区）は、選手たちのサポートを務めました。